

## ☆福岡大学病院診療科一覧☆

| 診療科名 | 腫瘍・血液・感染症内科 | 内分泌・糖尿病内科 | 消化器内科 | 腎臓・膠原病内科  | 循環器内科 | 呼吸器内科   | 神経内科 | 健康管理科   | 総合診療部 | 東洋医学診療部 | 精神神経科 | 小児科 | 消化器外科 | 呼吸・乳腺・小児外科 | 整形外科 | 形成外科    | 脳神経外科    | 心臓血管外科 | 皮膚科 | 泌尿器科       | 産婦人科  | 眼科         | 耳鼻咽喉科     | 放射線科  | 麻酔科   | 歯科口腔外科 | リハビリテーション科 |
|------|-------------|-----------|-------|-----------|-------|---------|------|---------|-------|---------|-------|-----|-------|------------|------|---------|----------|--------|-----|------------|-------|------------|-----------|-------|-------|--------|------------|
| 診療日  | 毎日          | 毎日        | 毎日    | 月・火・水・木・金 | 毎日    | 月・水・木・金 | 毎日   | 月・火・木・金 | 毎日    | ※予約制    | ※予約制  | 毎日  | 毎日    | 毎日         | 毎日   | 月・水・木・土 | ※予約制 月・木 | 月・水・金  | 火・木 | ※予約制 月・火・金 | 火・木・土 | 毎日※水土は再診のみ | 月・火・水・木・金 | 火・木・土 | 月・水・金 | 月・水・金  | 毎日         |

### 【診療受付時間】

- ◎初診：(月～土) 8時30分～11時00分
- ◎再診：(月～土) 8時30分～11時00分
- ※休診日：日曜・祝祭日
- 盆休(8/15)・年末年始(12/29～1/3)

### — お知らせ —

#### 診療科名称変更について

平成19年4月から、従来の血液・糖尿病科が『腫瘍・血液・感染症内科』と『内分泌・糖尿病内科』に分かれました。  
また、循環器科は『循環器内科』、消化器科は『消化器内科』、腎臓内科は『腎臓・膠原病内科』、呼吸器科は『呼吸器内科』とそれぞれ名称変更いたしました。

## 交通のご案内



### 地下鉄でご来院の方へ

「福大前駅」での下車となります。下車後、徒歩1分です。  
改札口を出て右側（2番出口）が福岡大学病院方面となります。  
定員20人乗りの一般用のエレベーターが設置されています。

- ※「天神南駅」からご乗車の場合（所要時間 約16分）
- ※「橋本駅」からご乗車の場合（所要時間 約8分）
- ※「福岡空港」、「博多駅」からの場合、「天神駅」で乗りかえです。  
天神地下街を通過して七隈線「天神南駅」から乗車となります。

### バスでご来院の方へ

「福大病院バス停」での下車となります。

### 天神から（所要時間 約30分）

天神警固神社三越前から⑭⑮番のバスにご乗車ください。  
天神協和ビル前（10）乗り場、あるいは天神福ビル前（12）乗り場からの場合、福大病院経由の⑭番のバスにご乗車ください。

### 博多駅から（所要時間 約40分）

博多駅前バス停（A）乗り場から⑮番あるいは、福岡交通センター1階（4）乗り場で福大病院経由の⑭番にご乗車ください。

### 六本松・別府2丁目バス停から（所要時間 約15分）

⑭番、⑮番、⑮④番で福大病院経由のバスにご乗車ください。

### 西新から（所要時間 約30分）

脇山口バス停で、⑨番の福大病院経由のバスにご乗車ください。

### 自家用車でご来院の方へ

#### 九州自動車道、福岡都市高速道路を利用する場合

九州自動車道、太宰府ICより福岡都市高速道路を経由し、堤ランプで降り、国道202号線（福岡外環状線道路）に入り2kmほど直進して、福大トンネル出入口手前で右折し福岡大学病院方面に向かい福大病院東口交差点を右折してください。

#### 西九州自動車道を利用する場合

西九州自動車道（福岡前原道路）拾六町インターチェンジで降り、国道202号線（福岡外環状線道路）の青果市場入口交差点を右折する。国道202号線（福岡外環状線道路）を4kmほど直進し、福大トンネル出入口手前で右折する。梅林中学校交差点を左折後300mほど直進し、福大病院南口交差点を左折してください。

#### 国道202号線バイパスを利用する場合

- ※ 天神、六本松方面から来院される方は、国道202号線（A別府橋通り）の中村大学前交差点を左折し3kmほど直進し、七隈四ツ角を過ぎると右側に病院が見えてまいります。
- ※ 福重、原方面から来院される方は、国道202号線（C今宿新道）の荒江四ツ角を過ぎ、国道202号線（別府橋通り）の中村大学前交差点を右折し3kmほど直進し、七隈四ツ角を過ぎると右側に病院が見えてまいります。

#### 国道263号線を利用する場合

- ※ 西新、荒江方面から来院される方は、国道263号線（D早良街道）の野芥四ツ角を左折し、県道49号線を1.2kmほど直進し福岡大学病院方面に向かい福大病院南口交差点を左折してください。
- ※ 三ツ瀬、曲洲方面から来院される方は、国道263号線（早良街道）の野芥四ツ角を右折し、県道49号線を1.2kmほど直進し福岡大学病院方面に向かい福大病院南口交差点を左折してください。

## 福岡大学病院

〒814-0180  
福岡市城南区七隈七丁目45-1  
TEL (092)801-1011(代)

発行：医療情報部 URL：http://www.hop.fukuoka-u.ac.jp/

# FUKUOKA UNIVERSITY HOSPITAL NEWS 福大病院ニュース

2007 季刊

夏号

No.60



# 禁煙宣言

## — 病院敷地内全面禁煙のお知らせ —

福岡大学病院は、患者さまをはじめ病院を利用される皆様の健康のために、煙のないクリーンな病院作りに積極的に取り組んでおります。

については、平成19年1月1日から病院敷地内では全面禁煙といたしておりますので、ご協力とご理解をお願い申し上げます。

### 福岡大学病院の基本理念 あたたかい医療

- 高度先進医療の指導的病院
- 健康のための情報発信基地
- 地域に開かれた中核的医療センター
- 社会に必要とされる優れた医療人の育成
- 社会のニーズに応える患者中心の医療の提供



### ■ 患者さまの権利について

医療は医療者と患者さまとの信頼関係で成り立っています。患者さま一人一人が医療の中心となり、以下の権利と責任（患者さまの権利に関するリスボン宣言）があることを福岡大学病院の職員一同は認識します。

1. 患者さまは常に人間としての尊厳と、差別のない安全で最善の医療を受ける権利があります。
2. 患者さまは医師や病院あるいは保健サービス施設を自由に選択し変更する権利があります。
3. 患者さまは検査や治療について、その目的、もたらされる結果などについて、十分に説明を受け、納得の上で選択あるいは拒否の決定を下す権利があります。
4. 患者さまは自分自身に関する情報を開示され、自己の健康状態について十分な情報を得る権利があります。
5. 医療上得られた個人の情報やプライバシーが守られる権利があります。
6. 患者さまは健康について保健教育を受ける権利があり、自分の健康に対する自己責任があります。



## PET-CT検査が始まりました



放射線科  
医師 桑原 康雄

PET-CT検査が本年6月11日より福岡大学病院でも始まりました。約1年の準備期間を経て、放射線部第二の核医学部門の中にPET-CTが設置されました。検査には核医学部門のスタッフが当たりますが、私を含め2名のPET核医学認定医のほかに、新たに診療放射線技師と看護師が各1名増員となり、最高レベルのPET-CT診断とサービスを目指してがんばっています。PET-CTの設置は福岡市の西部地区としては初めてのことで、最新鋭のPET-CT装置 (Aquid, Toshiba & Siemens) が設置され、すでに300人以上のがんの患者さんが検査を受けられました。この装置はLSOといわれる高性能の発光体を含む放射線検出器を備えており、小さな病変でも感度良く検出することができます。写真のようにPET装置と多列検出器ヘリカルCT装置を直列に配置し、これらが移動することにより寝台を固定したまま全身を検査することができます。

### <PET-CT検査とは？>

PET-CT検査ではF-18という比較的半減期の短い放射性核種で標識されたブドウ糖 (FDG) を体内に静脈投与します。FDGは物質としてはごく微量であり、造影剤でみられるような副作用がまずありません。FDGを体内投与することによる被曝は少量であり、同時に行うCTも線量を下げているため、両者合わせても、胃透視と同程度とわずかです。したがって、きわめて安全な検査といえます。

体内に投与されたFDGは血液により全身に運ばれ、腫瘍や脳に蓄積します。この様子をPET装置により外から検出し、全身の分布を画像として表示します。血液の中の糖分が多いと腫瘍や脳への集積が低くなるため、検査前には少なくとも4時間の絶食が必要です。FDGが腫瘍や脳へ充分集積するには時間がかかるため、静脈投与後1時間ほど専用の部屋で安静に待機していただきます。その後、20～30分かけて全身を撮影しますが、必要に応じて追加撮影するため、来院から検査終了まで2時間半から3時間かかります。

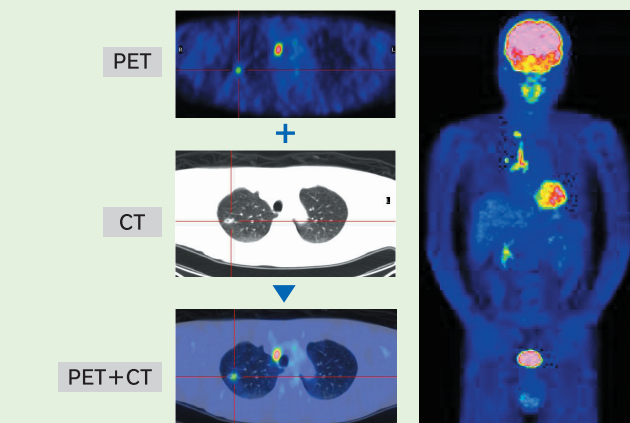
PET-CT装置はその名の通りPET装置とCT装置を組み合わせたものですが、図のようにPET装置で撮ったFDGの体内分布をCT画像に重ね合わせて表示します。これによりPET検査やCT検査単独では診断の難しかった病変が大変検出しやすくなり、診断能が飛躍的に向上しました。

### <PET-CT検査が有用ながんは？>

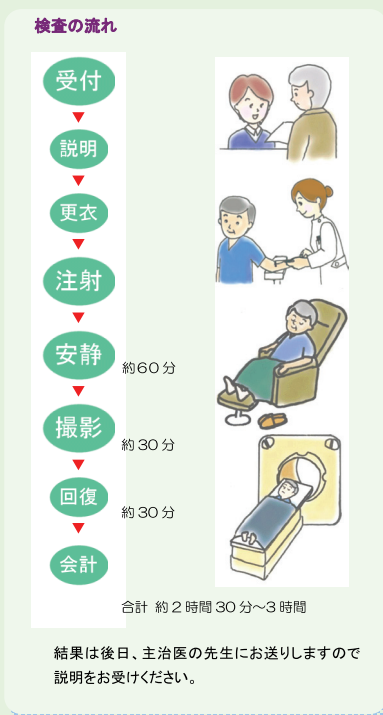
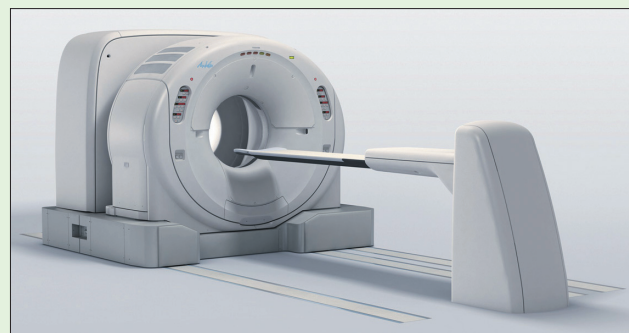
FDGはいろんな種類の腫瘍に集まるため汎用性の高い放射性医薬品です。現在、保険適用されている「がん」には肺がん、乳がん、卵巣がん、子宮がん、大腸がん、膵臓がん、食道がん、頭頸部がん、悪性リンパ腫、悪性黒色腫、脳腫瘍があります。検査の目的は良悪性の鑑別や転移の診断ですが、特に治療前の病気の拡がりを正確に診断し、適切な治療法を選択する場合や再発が疑われるが病巣がはっきりしない場合にPET-CT検査が有用です。腫瘍のほかに、てんかんの焦点診断や心筋梗塞の一部にも保険が適用されています。これらの病気以外では私費となりますが、詳しくは主治医の先生にお尋ねください。

### <PET-CT検査を受けるには？>

福岡大学病院にかかられている方は主治医にご相談ください。外来と病棟に検査の説明書を配布してあります。院外からは下記にご連絡ください。検査の費用は3割負担で30,000円程度です。私費の場合は98,000円となります。



### PET-CT装置



**PETに関するお問合せ先** 〒814-0180 福岡市城南区七隈七丁目45-1  
福岡大学病院 FAX 092-862-8622  
R1検査室 TEL 092-801-1011(内線 2180) 9:00～16:40 (土日祭日除く)

## 血液浄化療法センターでは何を行っているの？



血液浄化療法センター  
医師 村田 敏晃

### <血液浄化療法とは>

血液浄化療法とは血液中にたまった老廃物など病気の原因となる物質を取り除き、体の状態を改善させる治療法の総称です。

### <血液浄化療法の種類>

血液浄化療法は、人工腎臓(ダイアライザー)を用いる血液透析、血液濾過、血液透析濾過、腹膜を介する腹膜透析、血液透析以外の血漿交換(アフエレシス)や白血球除去などの血液浄化療法に大別されます。

### <血液浄化療法の適応となる疾患>

1.急性腎不全、慢性腎不全、急速進行性腎炎。2.劇症肝炎、急性肝不全、術後肝不全、肝性昏睡。3.多臓器不全、エンドトキシンショック。4.重症筋無力症、ギランバレー症候群、多発性硬化症。5.悪性関節リウマチ、全身性エリテマトーデス。6.潰瘍性大腸炎。7.家族性高コレステロール血症、閉塞性動脈硬化症、巣状糸球体硬化症。8.尋常性天疱瘡、類天疱瘡。9.血液型不適合腎移植。10.薬物中毒、などの疾患に対して各種の血液浄化療法が単独あるいは組み合わせて行われます。

血液浄化療法は、人工腎臓(ダイアライザー)を用いる血液透析、血液濾過、血液透析濾過、腹膜を介する腹膜透析、血液透析以外の血漿交換(アフエレシス)や白血球除去などの血液浄化療法に大別されます。

### <血液浄化療法センター業務内容>

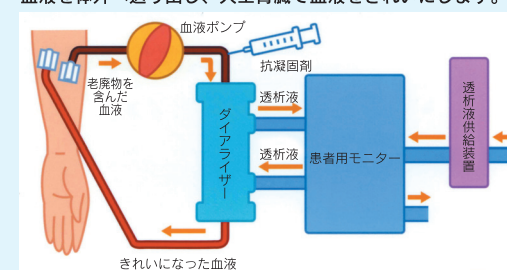
センターでの業務は多岐に渡っていますが、主に末期腎不全からの維持血液透析導入、維持透析患者さんが内科および外科的治療として各科に入院されたときの血液透析を行っています。透析療法は、健康な腎臓が果たしていた役割の一部(体内の老廃物や有害物質の除去、水分の除去)を体外で人工腎臓(ダイアライザー)を使用して人工的に補う方法です。透析に要する時間は、1回4～5時間、週3回が基本となります。

わが国の透析患者数は日本透析医学会による統計調査が始められた昭和43年4月215人から、平成18年12月末では264,473人にまで増加しています。当センターでこれまでに新たに透析療法に導入された患者さんは、平成19年3月31日で1085人(糖尿病性腎症:373人、慢性糸球体腎炎294人、腎硬化症212人、その他205人)となっています。既に透析療法が行われている患者さんの合併症治療としての入院件数も延べ3000件近くになっています。入院科としては、内科では狭心症治療を中心として循環器、外科では整形外科、眼科、冠動脈バイパス術として心臓血管外科、二次性副甲状腺治療で泌尿器科などが多く、その他救命救急センターなど全科に渡っています。

### 血液透析

#### 血液透析のしくみ

血液を体外へ送り出し、人工腎臓で血液をきれいにします。



### 透析導入基準(旧厚生省腎不全医療研究班1992)

#### 1.臨床症状

- 1) 体液貯留(全身浮腫、高度の低蛋白血症、肺水腫)
- 2) 体液異常(管理不能の電解質・酸塩基平衡異常)
- 3) 消化器症状(悪心、嘔吐、食欲不振、下痢など)
- 4) 循環器症状(重篤な高血圧、心不全、心包炎)
- 5) 神経症状(中枢・末梢神経障害、精神障害)
- 6) 血液異常(高度の貧血、出血傾向)
- 7) 視力障害(尿毒症性網膜症、糖尿病性網膜症)

#### 2.腎機能

| 血清クレアチニン濃度<br>(mg/dl) | クレアチニン・<br>クリアランス (ml/分) |     |
|-----------------------|--------------------------|-----|
| 8以上                   | 10未満                     | 30点 |
| 5～8                   | 10～20                    | 20点 |
| 3～5                   | 20～30                    | 10点 |

#### 3.日常生活の障害度

尿毒症症状のために起床できないものを高度……………30点  
日常生活が著しく制限されるものを中等度……………20点  
通勤、通学あるいは家庭内労働が困難となった場合…10点  
付帯条件として10歳以下の年少者、65歳以上の高齢者および全身性血管合併症のあるものについては10点を加算する。

#### 4.評 価

総合得点が60点以上のものを透析導入の基準とする。

### <最後に>

福岡大学病院血液浄化療法センターは昭和48年4月に腎センターとして開設されて以来、34年が経過しました。透析患者さんの高齢化、各種の合併症を有する長期透析患者さんや糖尿病腎症から透析導入となる患者さんの増加に伴い、センターでの治療を必要とする患者さんは急増しています。今年の6月4日より場所を新たに西別館4階に移動して、透析ベッド数をこれまでの10床より20床に増床された新血液浄化療法センターとして稼働しています。ベッド数増加により各科への入院要請にも即座に対応できると思います。透析中は透析指導医や認定医を持っている専任の透析担当医が常に透析の状態を見守っているために、安全な血液浄化療法が受けられます。さらに、透析医療従事者研修指定施設として、毎年各地より訪れる多くの医師・看護師・臨床工学技師の方々への指導にも力を注いでいます。大学病院してはあまり行われていない外来維持血液透析も毎日午前午後(日曜日を除く)行っていますし、来年はさらにベッド数が25床に増床される予定です。